

「情報公開文書」

受付番号：2023-4-132

課題名：糖尿病・フレイルと遺伝的背景、生活習慣の関連に関する研究

研究責任者：東北メディカル・メガバンク機構 機構長 山本雅之

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画の地域住民コホート調査及び三世代コホート調査に参加された 20 歳以上の成人約 3 万人

2. 研究目的・方法

【研究期間及び試料・情報の利用又は提供を開始する日】

2023 年 12 月 1 日（研究実施許可日）～2025 年 3 月 31 日

試料・情報の利用又は提供を開始する日：研究実施許可日

【研究目的】

本研究では東北メディカル・メガバンク機構で推進している地域住民コホート調査、三世代コホート調査で収集されたオミックス情報、生活調査情報を解析し、フレイル（筋力の衰えなど年齢を重ねることで生じやすい衰え全般を指します）、糖尿病を発症していない方の生活習慣や代謝状態の特徴を明らかにする中で、フレイル、糖尿病の予防方法を探索することを目的とします。

日本は急速な少子高齢化に伴い医療、介護費用が急増しており、特に認知症による介護費の増加は深刻な課題となっています。これまでの研究から、認知症は最大 30 年前から病態の進行が始まっている事、認知症の原因のうち 1/3 は生活習慣の改善による予防が可能である事が知られており、早期の予防行動が非常に重要と考えられています。本研究では予防可能な認知症のリスク因子の中でも特に患者数の多い糖尿病、フレイルに焦点を当て、防御因子となる生活習慣を明らかにすることで、直接的には糖尿病、フレイルの発症予防に役立ち、長期的には認知症リスク低減と介護費用の抑制に役立つことが期待されます。

【研究方法】

東北メディカル・メガバンク事業の地域住民コホート調査および三世代コホート調査の参加者様から収集させて頂いた遺伝子多型情報から遺伝的にフレイル、糖尿病の発症しやすさを、生化学検査情報、レセプト情報から実際のフレイル、糖尿病の発症有無を判定いたします。遺伝的にフレイル、糖尿病を発症しやすい方であるにもかかわらず、実際にはフレイル、糖尿病を非発症の方のオミックス情報、食生活など生活習慣情報の特徴を発症

者と比較することで、フレイル、糖尿病の予防に寄与する生活習慣や、代謝状態を明らかにします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

調査票情報、生化学検査情報、遺伝子情報、血漿試料のオミックス情報、タブレット調票情報、生理機能検査情報、医科レセプトデータ（特定健診の相乗りで地域住民コホート調査に参加いただいた一部対象者のみ）。

本研究において試料は使用しません。

4. 外部への試料・情報の提供

東北大学東北メディカル・メガバンク機構から外部への試料の提供はありません。特定の個人を識別できないように加工された調査票情報、生化学検査情報、遺伝子情報、血漿試料のオミックス情報、タブレット調票情報、生理機能検査情報、医科レセプトデータは共同研究先と共有され、共同で解析を行う場合があります。

提供する情報は、東北メディカル・メガバンク機構内にあるスーパーコンピュータの共同研究区画に必要なデータを置き、スーパーコンピュータ上で解析を行います。

【試料・情報の提供を行う機関】

機関名称：東北大学東北メディカル・メガバンク機構

機関長名：山本 雅之 機構長

【提供を行う試料・情報】

試料：提供無し

情報：特定の個人を識別できないように加工された調査票情報、生化学検査情報、遺伝子情報、血漿試料のオミックス情報、タブレット調票情報、生理機能検査情報、医科レセプトデータ

5. 関係研究組織

東北大学東北メディカル・メガバンク機構と味の素株式会社の共同研究になります。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長 山本 雅之

味の素株式会社 バイオ・ファイン研究所 上席研究員 萩原 麻美

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 生体分子解析分野

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-274-6016

東北大学の東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域住民コホート担当
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5161

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート担当
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5162

◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第21条の4＞

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1＞

＜個人情報の保護に関する法律第33条の2＞

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合

◆利益相反について

（本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。）

本研究は、東北大学と味の素㈱との共同研究契約に基づき受け入れた研究費を財源として実施します。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係に追加・変更が生じた場合は、所属機関において利益相反の管理を受けることにより、本研究の企業等と利害関係についての公正性を保ちます。